

JAWIC

Seattle News

米国 4 月の住宅着工数、前月比+8.2%

商務省発表による 4 月の住宅着工数は年率 103.2 万戸で、3 月の 95.4 万戸から 8.2%の増加となった。しかし、2007 年 4 月の 148.7 万戸に比べれば 30.6%落込んでいる。前月比プラスの要因は、増減の激しい集合住宅が増えたためで、一棟 5 戸以上の集合住宅は 32.6 万戸と前月比+40.5%となっている。しかし一戸建は 69.2 万戸と 1991 年 1 月以来の低水準。先行指標となる建築許可数は、97.8 万戸で前月の 93.2 万戸に比べ 4.9%の増加。このうち一戸建は 64.6 万戸で前月比+4.0%。

この数字から、住宅不況はようやく底を打ったとの見方も出てきたが、そうであるとしても回復の足取りは極めて遅いペースであろうというのが大方の見解。

図：米国住宅着工数の推移（1000 戸）

